

保健師、看護師等の広域派遣・受入体制 の整備と避難所等での活動について

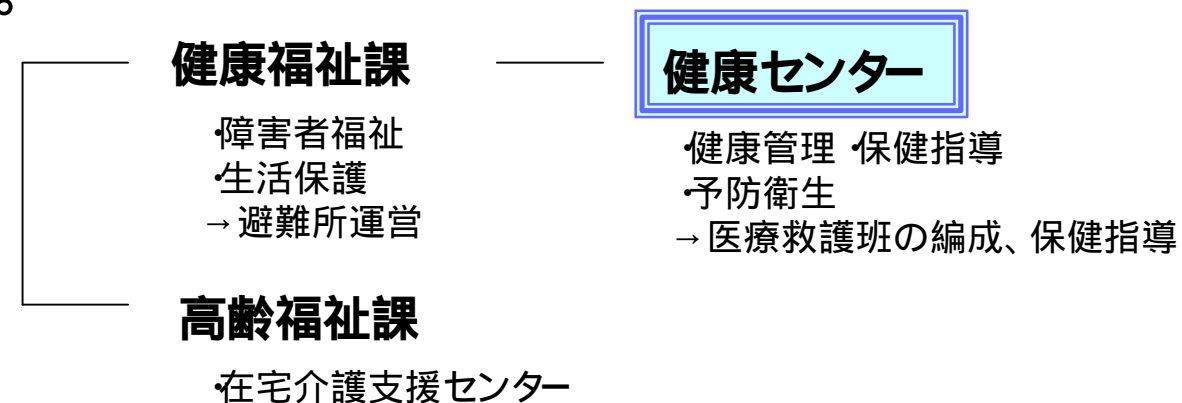
災害時要援護者の避難対策に関する検討会（第 3 回）

平成 17 年 12 月 26 日

1.新潟県中越地震における保健師の広域 派遣・受入

新潟県からの要望を踏まえ、厚生労働省が各都道府県等からの保健師の派遣について調整を行い、12/26までに延べ5,585人の保健師が現地において活動。

例えば小千谷市では、県外から応援に入った保健師が2人1組で10/28までにすべての避難所を巡回。また、小千谷市の保健師は、健康センター（救護本部）において情報集約、派遣調整を実施。



2 避難所における保健師の主な活動

避難者の健康管理

医療の確保 (救護所、巡回医療班等との連携調整)

避難者の健康状態の把握、疾病の早期発見等

感染症予防、健康教育 等

災害時要援護者への対応

要援護者の早期把握、処遇への十分な配慮

必要に応じ、福祉避難所、緊急入所等への対応・調整 等

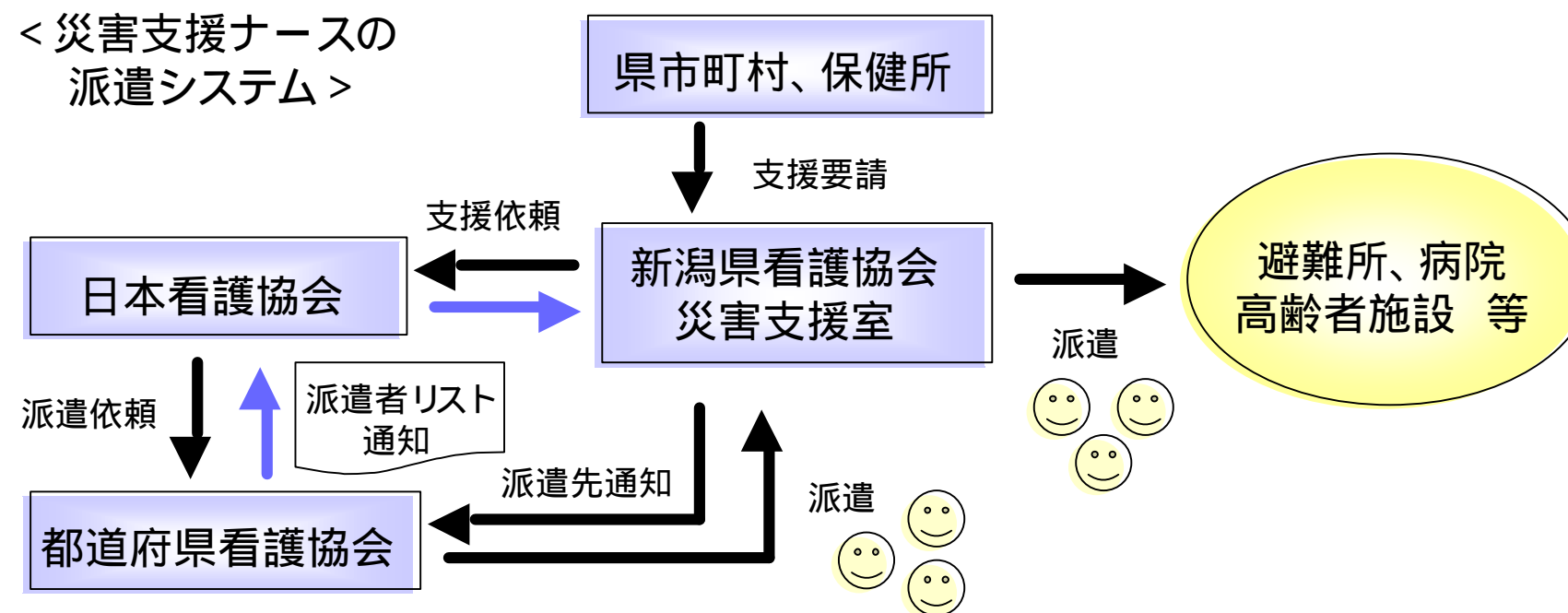
環境整備・栄養対策

階段、トイレ等への手すり設置、ポータブルトイレの設置、衛生面での配慮

安全な食事・飲料水の供給、食事制限やアレルギーのある者への配慮 等

3 新潟県中越地震における看護師の広域 派遣・受入

< 災害支援ナースの
派遣システム >



< 災害支援ナースの派遣状況 >

延べ人数

	2004.11.3現在	2004.12.15現在
新潟県内ナース	191名	250名
他県ナース	104名	562名
合 計	295名	812名

3 今後の主な課題

- 保健師、看護師等の広域派遣の必要性の早期把握（市町村→都道府県→国）
- 保健師、看護師等の広域派遣・受入に関する仕組みの整備、マニュアルの策定
- 市町村、保健師、看護師等の関係機関・者間での連携